

【競技名】NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」

【競技紹介】

NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」は、ロボカップジュニアのサッカーチャレンジのルールを基にした競技である。

1. NEST ロボコンのエントリーとチーム

NEST ロボコンは、ロボット1台でエントリーすること。1台のロボットを2名以上5名以下で製作することも認める。

1台のロボットを1名が製作しても構わない。NEST ロボコンの全競技は、別のロボットの製作者（製作グループ）とチームを編成し競技を行う。チームの組み合わせは、NEST ロボコン開催日の1週間前までに事前に公表される。

2. 実施リーグ

ワールドリーグサッカーオープン

ワールドリーグサッカーライトウェイト

日本リーグ・サッカービギナーズ

※参加チーム数が少ない場合、試合を実施せず、練習コートのみ用意する場合がある。プレゼンテーション審査は実施される。

3. 競技方法、回数

■通常試合

(1) 試合形式

トーナメント形式で試合を実施する。

最初の組み合わせはくじ引きで決定される。その後の試合はトーナメント表に従って実施される。

1試合は2対2で行う。1チームは最低2試合参加できる。

(2) トーナメント形式のため、各試合必ず勝ち負けを決定する。前後半の試合で決着がつかない場合、延長戦を実施する。延長戦でも決着がつかない場合はPK戦等を行う。

(3) 試合時間は参加チーム数によって調整する。

■テクニカルチャレンジ

Precision shooter (プレジジョンシューター)

シュート精度を競うチャレンジ

(1) 競技形式

各ロボット1回ずつチャレンジできる。

(2) 競技時間は参加チーム数によって調整する。

4. 適用ルール

■通常試合

(1) ロボカップジュニアジャパンオープン 2019 和歌山大会公式ルールをベースに実施する

【ルールリンク先】

○ワールドリーグ オープン、ライトウェイト

https://drive.google.com/file/d/1q1q_4Y1p-GbfnC_ikj4Vn_IwK15ebQx6/view

○日本リーグ・サッカービギナーズ

ルールページ

http://www.robocupjunior.jp/rule/2017rule-gifu-nakatsugawa/RulesJ2017_Beginner.pdf

■テクニカルチャレンジ

ランダムに配置されたボールを見つけ、相手ゴールに入れた回数を競う競技。

(1) チャレンジは1ラウンド20秒、6ラウンドで実施する。

(2) ロボットは自陣のペナルティエリアからスタートする。

(3) ラウンドごとにボールはサイコロを振ることで自陣内の下記位置にランダムに配置される。

1. 左の中立点
2. 右の中立点
3. ペナルティエリアの左隅
4. ペナルティエリアの右隅
5. フィールドの左隅
6. フィールドの右隅

(4) ラウンドで得点するたびに相手ゴール内に障害物(ブラックボックス)が配置されます。具体的な配置方法は下記の通りです。これにより得点ごとにゴールしづらくなります。

1ラウンド目、目標のゴールは完全に開いています。

※ゴールイメージ



得点した場合、サイコロを振り、サイコロの数字に対応するゴールの部分ブラックボックスで覆われます。

すでにカバーされている場合、サイコロを再び振ります。

※例：2ラウンド実施し、サイコロで3と5が出た場合、下記のようにゴール内にブラックボックスがおかれます。



(5) 全6ラウンドを終了し、得点の多いチームが優勝です。同点の場合、ゴール達成時間で比較しより短時間でゴールをあげているチームが優勝となります。

5. リチウム系電池の取り扱いについて

本大会はロボカップジュニア 2019 和歌山大会ルールに基づき運営します。

☆競技運営指針 4. 電池のルール参照

http://www.robocupjunior.jp/rule/2019rule-wakayama/RCJJ2019_Competition-Guideline-v5_20190313.pdf

なお、リチウムイオン二次電池使用を使用するチームはエントリー時に使用の有無を申請すること。

6. 順位付け

リーグごとに、トーナメントで順位付けを行う。

7. プレゼンテーション・ポスター

サイズはA3縦とする。ロボット製作者（もしくはグループ）は事前に活動内容、戦略、ロボットの機構や動きの説明等をプレゼンテーション・ポスターにまとめ、競技会当日、会場に掲示しておかなければならない。

優秀なプレゼンテーション・ポスターを制作したロボット製作者（もしくはグループ）には、ベストプレゼンテーション賞が授与される。

8. 賞

■通常試合

- 1) チーム単位で優勝・準優勝・第3位を表彰する。参加チーム数によって表彰数を調整する。
- 2) ベストプレゼンテーション賞を設け、賞状を授与する。ベストプレゼンテーション賞は1台のロボットを製作した個人もしくはグループを対象とする。

■テクニカルチャレンジ

- 1) 個人単位で優勝・準優勝を表彰する。参加人数によって表彰数を調整する。